

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 8月 2日

議 会 議 長 様

議席番号 6 番

議員氏名 栗 原 偉 憲

| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 指 定 答 弁 者 |
|-----------------------------------|--|---|
| 1. 土地利用方針を中心とした第6次杉戸町総合振興計画等の見直しを | <p>幸手市長は2期目就任にあたり、3つの課題を掲げた。そのうちの一つである地域経済の活性化については、神扇地区における幸手中央地区産業団地拡張、上高野地区における土地改良事業など、大規模プロジェクトが事業化に向けて進んでいると伺っている。当町でも幸手市のように効果的な土地利用を検討し、まちづくりの根幹となる土地利用に関する方針を大幅に見直すなど、杉戸町都市計画マスタープランを再改訂すべきと考える。</p> <p>また、窪田町長就任時の公約実現が非常に難しい状況において、任期途中でも自ら掲げたまちづくりビジョンを取り下げ、実現可能な政策に向けて、町の最上位計画である第6次杉戸町総合振興計画を見直していくべきと考えるが、町長の見解を伺う。</p> | 町長 副町長 総合政策課長 都市施設整備課長 担当課長 |

8月 2日 午前・午後 1時50分 受理

| 質問事項 | 質問要旨 | 指定答弁者 |
|--------------------------|--|---------------------------------------|
| 2. 杉戸町におけるDX化の更なる推進を | <p>いま町は、新庁舎整備基本構想を策定し、今年度は主に住民説明会の実施等をしているところだが、私たち議員も新庁舎整備に関する視察や研修会、議会懇談会を行っている。50年先の町の人口構成は超少子高齢化が確実視されており、町民が求めるサービスを実現し生産性を上げていくには、一日も早くDX化を実現し、未来を創造していくことが大切である。</p> <p>策定された新庁舎整備基本構想では、現庁舎の主な課題として10項目掲げられている。その中でも特に注目すべき事項は、(5)窓口の狭あい化、(7)執務環境改善への対応についてである。</p> <p>そこで、まずは出来るところからペーパーレス化を図り、文書庫をデジタル化することで、書類保管環境の狭あい化を是正して、町の未来を創造するべきだと思うが、町の見解を伺う。</p> | 町長 副町長 総務課長 デジタル推進室長 担当課長 |
| 3. 各種団体に対する補助金等交付の検討の状況は | <p>町は令和6年度45団体に約174,565,000円の補助金等を支出している。総予算の1.2%ほどだが、いつまでもこの数字を永遠に払い続けられるわけではない。補助金等の原資は税金（あるいは寄附金）である。</p> <p>したがって、補助金等を受ける企業や団体は、その見返りとして政策目標の達成や社会貢献に役立てることが求められる。令和5年12月議会において、補助金支出決定には体制チームを構築すべきと提案し、町長は「今後精査してまいります。」と答弁した。</p> <p>その後の検討状況を伺う。</p> | 町長 副町長 総合政策課長 担当課長 |